

持続的な成長に向けて

IDECグループでは、持続的な成長を実現するためにさまざまな改革をグローバルで行うとともに、従来の働き方を改めて見直し、新たな時代を見据えた取り組みを行っています。

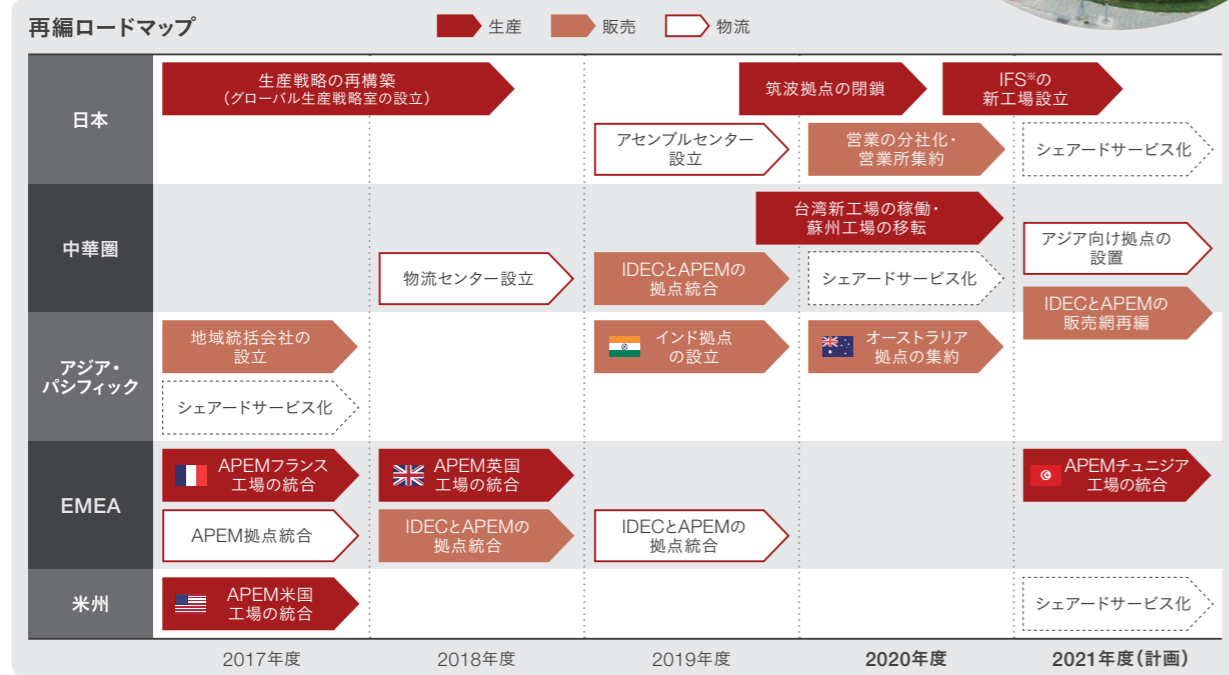
国内外の拠点再編

生産・販売・物流拠点の最適化に向けた国内外の拠点再編を行っています。2020年に筑波の生産拠点を閉鎖し、国内生産拠点の統合を行うとともに、海外においては、蘇州工場を移転し、台湾の新工場を稼働しました。

EMEAや米州では、IDECとAPEMのさらなるシナジー拡大に向けた拠点の統合を進めています。また日本では、スピーディな意思決定を行っていくために国内営業部門を分社化するとともに、18か所の営業所を東京と大阪の2拠点に集約し、オフィスに依存しない営業体制を構築しています。



台湾の新工場



※IFS: IDECファクトリーソリューションズ株式会社

「感染症に強い工場」の実現



非接触の自動検温システム

生産現場における労働安全衛生の取り組みとして、感染症など外来リスクへの対応といった新しい概念が必要となっていることから、感染症に強い工場の実現に向けた取り組みを進めています。

IDECのスマートRFIDリーダ「KW2D形」などの製品と、市販のサーモカメラを組み合わせた非接触の自動検温システムを構築し、国内全ての生産・物流拠点に導入しました。入館前に社員証をRFIDで読み取ることで、計測結果を自動でクラウド上に保存し、遠隔で確認・管理することができます。

またアSEMBルセンターでは、IDECのウェアラブル端末を活用したピッキング作業や、RFIDカード・タブレットを活用した組み立てなどを導入することで、手を介した感染の防止に加え、効率化や生産性向上を図っています。

アSEMBルセンターのピッキング工程

3 デジタル化の推進

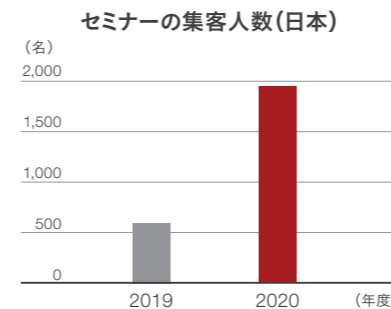


本社に新設したスタジオ

近年、動画の需要が高まっており、配信をベースにした動画映像は今後のビジネスを成長させる重要な鍵となることから、IDECグループの情報発信基地の役割を担う専用スタジオを、2020年に新設しました。

最新の機材を導入したスタジオの開設により、製品販促、オンラインセミナーによるビジネス情報、社内外への情報共有といったさまざまな動画コンテンツを配信し、2020年度セミナーの集客人数は、前年度比の3倍以上となりました。

また、効率的な営業活動を実施していくための取り組みとして、デジタル技術を活用したデジタルマーケティングを推進しています。顧客分析機能や、潜在顧客へのアプローチが可能な、各地域に特化した新しいウェブサイトを開発し、一人ひとりの顧客ニーズに合った情報をタイムリーに提供することで、顧客層の拡大や営業の効率化、サービスの向上を追求していきます。



新しいウェブサイト



<https://jp.idec.com/>

4 協調安全ロボットシステム事業の拡大

人と同じ現場で働くことのできる協働ロボットは、生産現場の自動化や省人化といった需要を背景に、さまざまな分野で導入が進んでいます。また2020年以降は、感染防止対策での新たなニーズが生まれており、ロボットの需要はさらに拡大しています。

今後グローバルで成長が期待できる協調安全ロボットシステム事業の拡大に向けて、IDECファクトリーソリューションズ株式会社では2021年4月に新工場を稼働しました。また2022年3月には新本社も完成予定で、新本社完成後には協調安全ロボットテクニカルセンターを本社内に移設し、ロボットシステムの生産能力はこれまでの3倍となる予定です。

また同時に、制御システムのグローバル展開を視野に、米国の海外規格UL508A認証を取得しました。制御システムのコンサルティングから、設計、生産まで行うことで、ビジネスの拡大を図っていきます。



協調安全ロボットテクニカルセンター



新工場(2021年4月稼働)



新本社(2022年3月完成予定)